

平成 23 年 11 月吉日

各位

「あきた消化器がんセンター  
(仮称)をつくる県民の会」

拝啓 晩秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

秋田県のがん死亡率が 14 年連続全国ワースト 1 であることは、つとに知られております。

私どもは、この現状を直視し、県民のがん対策向上の要望に応えるべく、このたび、「あきた消化器がんセンター (仮称)をつくる県民の会」を設立しました。

詳細につきましては、趣意書をご覧いただき、本会の設立になにとぞ、ご賛同いただけますようお願い申し上げます。

末筆になりますが、みなさまのご健勝をお祈りします。

なお、ご賛同いただける方は、賛同書と設立総会の出欠をファクスにてご返信いただければ幸いです。

事務局

〒010-0001

秋田市中通一丁目 3-5 秋田キャッスルホテル 2 F

工藤胃腸内科クリニック内

TEL 018-825-9100

FAX 018-825-9101

(お問い合わせは、内藤、八代までお願いいたします)

## 「あきた消化器がんセンター」をつくる県民の会設立趣意書

秋田県は、がんの死亡率において14年連続全国ワーストワンを記録しています。この不名誉な記録を一日も早く返上し、「がんでは死なない」健康な秋田県を築くことは、県民の悲願です。そのため、秋田県は本年3月、東北では初めて「がん対策推進条例」を制定し、生活習慣の改善や早期検診、質の高い医療の提供などを積極的に推し進めています。本年6月には官民一体の「秋田県がん検診推進協議会」が発足し、早期発見・早期治療を進める県民運動がスタートしました。

これらのがん対策運動を強力に推進するには、質の高いがんの医療研究拠点が不可欠ですが、残念ながら秋田県にはがん専門の医療拠点がありません。そこで私たちはその第一歩として「あきた消化器がんセンター」を設立したいと考えます。

幸い秋田市には、消化器がん治療の世界的権威である工藤進英氏がすでに検診クリニックを開設しておりますし、内視鏡施術が可能となる秋田市内の治療施設は「医療の国際化」を推進する経済産業省の支援により、モスクワに開設されるジャパンメディカルセンター（仮称）からの消化器がん患者の受け入れ施設の一つとなり得ます。

つまり、「あきた消化器がんセンター」が設立されれば、同センターは内視鏡・腹腔鏡による消化器がん治療の世界的な先進拠点となる可能性があり、地域医療のための施設であるうえに、世界中から患者とその家族が訪れる国際医療交流のわが国の主要な拠点にもなりうるわけです。

同時に、全国・世界からの優秀な医師の集積も促し、結果として本県の医師不足の解消と地域医療の再生にもつながることが期待されます。米国のメイヨークリニックの例やピッツバーグ市のような医療産業集積地へのきっかけにもなりえる試みです。

私たちは以上のような観点から、多くの県民のみなさんのご理解とご協力を得ながら、「あきた消化器がんセンター」の一日も早い開設をめざし、活動してまいります。

2011年10月

設立発起人	秋田県商工会議所連合会会長	渡邊	靖彦
	(社)秋田県経営者協会会長	新開	卓
	(社)秋田経済同友会代表幹事	那波三郎	右衛門
	秋田県商工会連合会会長	村岡	淑郎
	秋田県中小企業団体中央会会長	塩田	謙三
	秋田銀行頭取	藤原	清悦
北都銀行頭取	斉藤	永吉	

## 賛 同 書

私は、「秋田消化器がんセンター（仮称）をつくる県民の会」の設立に賛同し、会員として参加します。

平成 年 月 日

### 【団体でご参加される方】

住 所 \_\_\_\_\_

団 体 名 称 \_\_\_\_\_

代 表 者 氏 名 \_\_\_\_\_

電 話 番 号 \_\_\_\_\_ F A X \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

### 【個人でご参加される方】

住 所 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

電 話 番 号 \_\_\_\_\_ F A X \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

※団体または、個人どちらかにご記入をお願い致します。

※個人情報につきましては、本会運営業務に利用させていただきます。

※会費は頂かない方針です。